

膳所市民ニュース

発行 膳所学区自治連合会
編集 膳所市民ニュース編集委員会
編集委員会 (膳所市民センター内)
TEL.522-7513
印刷 マルキ印刷株式会社

学区内の世帯数・人口
平成21年12月1日現在
世帯数 7,138
人口 16,223
男 8,497
女 7,726



**受賞おめでとう
ございます**



新しくなった粟津神社本殿

膳所の総社とされて、2000年からの歴史がある。粟津山王権現祭神・大導寺田端介・田中恒世の三神が合祀されて、俗にたばたさんと通称されている。日吉大社山王祭には673年4月田中恒世により始められたという、粟飯の御膳を供える神事が行われ、現在は膳所の5社が順番に行っている。

市政功労者賞



岩崎 榮一氏
大津市軟式野球連盟理事長、大津市体育協会理事として

軟式野球競技の普及振興に尽力するとともに、地域スポーツの発展に貢献されました。

大津市自治会 55周年 功労者表彰

大津市自治会の結成55周年式典が11月2日琵琶湖ホテルにおいて、市内各地より自治会長及び関係者が集まり、盛会に行われた。

永年にわたり学区自治連合会長や自治会会長として、活躍され貢献された方々に、谷正雄自治連合会会長より表彰状が、目片信大津市長より感謝状が贈呈された。

膳所学区の功労者は、次の10名の方です。

- 自治会長を7年勤められた方 山本 博和 (膳所公園団地)
 - 自治会長を5年勤められた方 堀池 清典 (瓦が浜町)
 - 山田 徹 (新和)
 - 桂 博康 (杉浦3区)
 - 自治会長を3年勤められた方 森野 栄介 (魚屋町)
 - 脇 明 (北相模町)
 - 清水三喜郎 (南相模町)
 - 吉田 英夫 (大工町)
 - 古市 正男 (行啓町)
 - 澤 直道 (杉浦一区)
- 平成21年度の功労者は学区自治連合会長9名、自治会長が75名でした。

大津市体育協会功労者表彰受賞

田村 治郎氏 (昭和町)

平成21年11月23日(祝)大津市役所別館において、表彰式が行われました。長年に亘りスポーツの普及と振興につとめられ、市民の健康づくりに大きく寄与されました。

大津市青少年育成市民会議 会長表彰受賞

杉浦 智子氏 (膳所一丁目)

平成21年10月24日(日)大津市役所別館において、表彰式が行われました。青少年の健全育成に多年に亘り尽力されました。

滋賀県スポーツ敢闘賞 大津市体育協会 スポーツ功労者受賞

大津市粟津中学校 男子ソフトテニス部

平成21年11月19日(木)プリンスホテルにおいて滋賀県スポーツ敢闘賞の表彰を、また、11月23日(祝)には大津市体育協会スポーツ功労者表彰式が行われました。3月にあった全国都道府県大会個人優勝と8月の近畿総体団体優勝が評価されました。

神社本庁総裁表彰受賞

西田将一郎氏 (膳所二丁目)

平成21年2月3日(火)ランドプリンスホテル赤坂において、表彰式が行われました。敬神の念篤く多年の間神徳の発揚に意を注ぎ神社の経営を援け斯道のために多大の貢献をされました。

滋賀県スポーツ振興 奨励賞受賞

堀池 清典氏 (中庄二丁目)

平成21年11月19日(土)プリンスホテルにおいて、表彰式が行われました。長年に亘りスポーツの普及と振興につとめられ、健康づくりに大きく寄与されました。



膳所学区自治連合会

- 会長 西田将一郎
- 副会長 原田 重雄
- 西澤 正雄
- 田村 治郎

膳所学区自主防災会

- 会長 西田将一郎
- 副会長 大野 哲

膳所まちづくり委員会

- 会長 西田将一郎
- 副会長 大野 哲

膳所学区人権・生涯学習推進協議会

- 会長 西田将一郎
- 副会長 大野 哲

膳所学区民生委員児童委員協議会

- 会長 吉田 英夫
- 副会長 中谷 喜行
- 田村 治郎
- 横田 博
- 澤野 幸美
- 橋本 享子
- 原田 重雄
- 沙加戸方子

膳所プリングアップ

- 会長 脇 明
- 副会長 堀池 清典
- 長谷川秀武
- 杉浦 智子
- 澤 弘宣

膳所学区体育振興会

- 会長 堀池 清典
- 副会長 河井 紀之
- 田村 治郎
- 中川 忠士
- 古岡 滋

膳所観光協会

- 会長 堀池 清典
- 副会長 伊藤 茂
- 吉田 英夫
- 古岡 滋

膳所婦人会

- 会長 村治 絹
- 副会長 神田 信子
- 金子 節子

膳所商店街振興組合

- 理事長 竹内 基二
- 副理事長 横野 正一
- 伊藤 茂
- 弘宣

膳所学区文化振興協議会

- 会長 古岡 滋
- 文化部長 久原 修子
- 利用者団体部長 梅野 弘樹

膳所学区文化振興協議会

- 会長 久原 修子
- 文化部長 梅野 弘樹

膳所歴史資料室運営協議会

- 会長 戸田 耕吉
- 副会長 西田将一郎
- 吉田 英夫
- 上田 正雄
- 川村 武

膳所学区老人クラブ連合会

- 会長 山本與三郎
- 副会長 近藤 勉
- 中井 昂
- 山本 照子

膳所交通安全協会膳所支部

- 支部長 道地 初男
- 副支部長 平野つや子
- 木村 史朗
- 内田眞三郎

膳所市民ニュース運営委員会

- 委員長 西田将一郎
- 副委員長 桑原 静子
- 古岡 滋
- 編集委員一同

大津市消防団膳所分団

- 分団長 八代 武進
- 副分団長 国松 武

膳所学区健康推進協議会

- 会長 桑原 静子
- 副会長 有田 一恵

膳所学区母子福祉のぞみ会

- 会長 藤田 弘子
- 副会長 三久保静枝

相模川を美しくする会

- 会長 岡田 時開
- 副会長 大野 哲

膳所南部の川を美しくする会

- 会長 原田 重雄
- 副会長 中田 武
- 竹内富士雄

スバル運動推進委員会

- 会長 西田将一郎
- 副会長 堀井 博樹
- 田村 治郎

更生保護女性会膳所支部

- 支部長 村治 絹
- 副支部長 佐々 佳子

赤十字奉仕団膳所分団

- 分団長 宮村 安枝
- 副分団長 田中八重子
- 森岡 静子

身体障害者更正会膳所支部

- 支部長 勝宮 重松
- 副支部長 梶 正男

膳所遺族会

- 会長 生駒 雅俊

大津市役所膳所支所

- 支所長・館長 田井中 勲
- 次長 勝間 美幸
- 生涯学習専門員 八木 平蔵
- 職員一同

大津市膳所児童館

- 館長 山崎 繁樹
- 職員一同

第42回

福祉チャリティー・バザー お礼と報告

11月22日(日)、膳所小学校 体育館で、歳末助け合い運動の一環として平成二十一年度「福祉バザー」が開催されました。前日から各関係団体の方から応援をうけ、会場の設営か



ら後片付まで、各自治会から拠出物品や心温まる拠出金(ご浄財)を賜りました。会場内では、早速拠出物品の分類別に個々の品々に値付け作業も手際よく行

の午前十時頃には、準備完了となりました。開会時間の一時間程前から体育館の入り口付近に四十数名の方が並び、定刻午後一時に会長の合図で一斉に小走りで思い思いの品々をお買い上げ頂きました。体育館軒先では、有志の方から採り立ての新鮮な野菜や、



・バザー拠出物品 売上げ金額 二十六万七千九百 四十六円

お米などをたくさん提供していただきました。約一時間程で完了し、予定通り終了しました。今回も学区の皆さまが遠方からもご来場いただき、歳末助け合いのお気持ちでお買い求めいただきありがとうございました。今回の収益金は次のとおりです。

- ・自治会よりの拠出金(ご浄財) 十九万円
- ・会場募金(有志の方より) 七千五百十六円
- ・ご寄付金 老万円
- ◎総合計金額 四十七万五千四百六十二円

◎自治会より拠出物品数 約千六百点
年末には学区内の要援護者・施設等にお見舞金として、お贈りいたします。ご協力頂きました学区自治会並びに各関係団体の皆さまに感謝申し上げます。(主催・膳所学区社会福祉協議会)

紙ヒコーキを飛ばそう

膳所プリングアップが10月18日、膳所学区の子どもたちを集めて紙ヒコーキ大会を行いました。未就学児から6年生まで子どもたちとその保護者約100名が膳所小学校体育館に集まり、用意した紙と作り方の冊子で紙ヒコーキを自由につけて飛



ばしました。飛行距離や滞空時間を競ったり、バケツへの的当てなどの競技もあり、親子や友達と楽しい時間を過ごしました。

膳所小学校を訪ねて

10月26日(月)、膳所小学校から日頃お世話になっている「ひまわり隊」の皆様、学校内の子どもたちを見ていただき、とうとう、プリングアップを通してご案内いただき、私たちは朝夕見守る子どもたちが学校でどのようにしているのか少し興味を抱きながら訪問しました。一階の多目的教室では、校長先生から新型インフルエンザの影響について話され、「危ぶまれていた運動会や6年生たちが楽しみにしていた修学旅行も無事終りにしていた修学旅行も無事終り、ほっとしています。近隣の学校では延期になり後になるほど修学旅行が行けるか厳しい状況ですと話されました。また、日が近づいている「膳所小祭り」については早急に行うか如何かを決めたいとのことでした。



ぜひフロンティア 2009 ありがとうございます

各町 ふれあいサロンの活動



◎神戸防災未来館見学会にて 10月11日(日)、会員の親睦を兼ねたバスツアーが行われ、神戸市中央区の防災未来館を見学コースに選びました。滋賀県にとつて大災害を経験した姉川地震から百年、伊勢湾台風から五十年の節目に当たり、県下各地で自然災害に対する勉強会が開催されており、十四年前の阪神淡路大震災の映像や

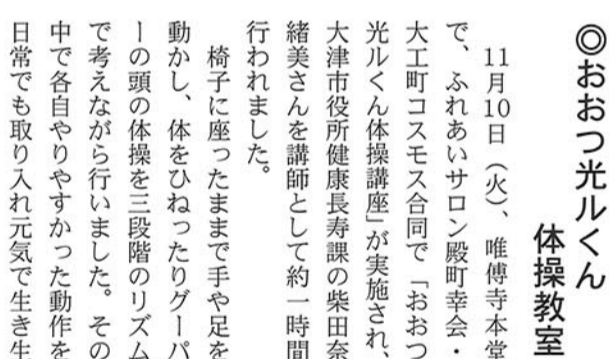
資料、経験者の話は説得力があり、改めて災害の恐ろしさを学ぶきっかけとなりました。「いざという時には、自分の身は自分で守る」「近隣同志の意思疎通や互助共助が大事」などが改めて話題となりました。最近では、自然災害に対する自主防災組織の話題がよく聞かれますが、今回の見学会は大変参考になりました。

◎お茶会と文化展開催

文化の秋、芸術の秋、いろいろなことに挑戦したくなる素晴らしい季節である11月3日(文化の日)、自治会集会所で「お茶会と文化展」が開催され、会員二十名が趣味を超えるプロ級の

◎おおつ光ルくん 体操教室

11月10日(火)、唯傳寺本堂で、ふれあいサロン殿町幸会・大工町コスモス合同で「おおつ光ルくん体操講座」が実施され、大津市役所健康長寿課の柴田奈緒美さんを講師として約一時間行われました。椅子に座ったままで手や足を動かし、体をひねったりグーパーの頭の体操を三段階のリズムで考えながら行いました。その中で各自やりやすかった動作を日常でも取り入れ元気で生き生



の皆さんが趣味/教養に健康に過ごされていることがよく分かりました。(別保三丁目二区自治会)



き介護予防に向けて前へ進めていけたらと念じつつ盛会のうち終了しました。「来て良かった」の声もあり楽しいひとときを過ごせました。(殿町幸会・大工町コスモス)



11月8日(日)、晴天の下で今年膳所神社さんをお借りして行いました。久しぶりにお会いした方は「こんなのがあるんやなあ。これはおいしいやろか。お昼の食事はこの弁当にしとこうか」と15時まで賑やかに終わりました。

膳所学区 三世代交流 グラウンドゴルフ大会

10月18日(日)、前日の雨も早々と上がり燦々と降り注ぐ陽光の下、三世代交流グラウンドゴルフ大会が膳所小学校校庭で開催され、33の自治会から150名が参加しました。各チームには必ず学童が1名以上参加することが条件で全チームを4ブロックに分け午前と午後それぞれ2ブロックが好成績を上げようとスタートしました。参加した皆さんは、日頃研いた技に更に地域の団結力・協力体制を、ここぞとばかり発揮し、優勝目指して和気藹々の中、汗を流しました。なかでも大人に混じって幼い学童が大人の作ったルールを学びつつプレーに熱中している姿は、微笑ましくあり、これぞ三世代交流ゴルフならではの収穫であり情景でもありました。ゲームが円滑に進行出来たのも体育振興会の皆さんが汗を流して下さったお陰であり感謝申し上げます。



※個人受賞の方は各ブロックにて、次の順位の方28名が受賞されました。

- ※入賞された自治会
- Aブロック
 - 一位 桜馬場
 - 二位 杉浦一区
 - Bブロック
 - 一位 池の内東A
 - 二位 中津町
 - Cブロック
 - 一位 御殿浜三区
 - 二位 北相模町B
 - Dブロック
 - 一位 杉浦四区
 - 二位 殿町

11月8日(日)、膳所学区文化振興協議会会員研修会が行われました。今年、三重県へのバス旅行が計画されました。好天の中、まず一行が訪れたのは植物庭園「なばなの里」。到着後は個々に園内を散策、咲き誇る季節の花々を觀賞しました。続いて訪れた御在所岳では、ロープウェイで展望台に向かいました。展望台からは紅葉が映える山々が一望でき、カメラのシャッターを切る姿が多く見られました。しばらくの自由行動の後、夕景に染まる御在所岳を背に、一行は膳所への帰路につきました。



第41回人権秋の集会

知っているようで知らない 膳所の人々の生き生き活動

第41回人権「秋の集会」が11月14日(土)膳所小学校で開催され、186人が参加しました。

全体会では、膳所小学校6年島崎みさのさん、馬杉直樹さん、粟津中学校3年加藤佑奈さん、膳所高校2年原健太朗さんの意見発表に感動の拍手があげられました。分科会は、①子育て ②高齢者 ③環境をテーマに膳所で活動されている諸団体から話を聞き、話し合いました。次のアンケート



トでは「子どもの意見発表はいつも新鮮でよい。今の子どもたちが何を考え、何に困っているか、そのことをどう地域で支えるかを学習した」「地域で子ども育成に関わっている方々の活動内容が聞けてよかった。子どもは人との関わりで成長しているのだと思った」「高齢者サークル活動の皆さんが元気で生き生き活動されているのに感心した」「膳所の町で環境保全に努力されている皆様のお話を聞き、自分もゴミ分別等に気配りしたい」が出ていました。(膳所人推協)

膳所婦人大会

10月27日(火)、第41回膳所婦人大会が膳所学区文化祭の協賛事業として開催されました。

ご多忙の中、膳所支所長の田井中勲様、八木平蔵様のご出席をいただき、あたたかいご祝辞を頂戴いたしました。会員の表彰は日頃婦人会活動に協力して頂きました松山綾子さん、山本澄子さん二名。



第一部式典後、植西様の大道芸で音楽のリズムに合わせて南京玉すだれ、アトバルーンで犬やうさぎ、玩具の刀等が行われました。傘廻しの芸では、皿や枱を上手に乗せ落下しないからハラハラドキドキ。和気あいあいのひとときを過ごしました。会員の皆さんも体験させて頂き、芸の難しさを感じ楽しいひとときをむかえました。その後のクラブ発表では、謡、コー

マナーを守って きちんと分別しましょう!!

11月9日の膳所学区「燃やせないごみ」の収集で、プロパンガスが天津クリーンセンターで確認されました。プロパンガスがごみ収集車に入ると、車両の火災事故になりかねません。市ではプロパンガスは収集できませんので、販売店に相談して下さい。



- カセットボンベ
スプレー缶
エアゾール缶
- かんの日(中は使い切る)
- LPガスボンベ…販売店へ相談してください
- 【問】ごみコールセンター ☎528-2761

おしらせ

●新春びわこ健康マラソン IN大津なぎさ

日時 平成22年1月2日(土)
会場 なぎさ公園
サンシャインビーチ

一年の始まりに、自分のペースで完走を目標に楽しんでいただける大会です。コースは、10kmと3kmの部に分かれており、平坦で湖沿いの爽やかなコースです。小学生から70歳代の方が一緒に、雄大なびわ湖を眺めながら気持ちよく走れます。ゴール後にはお楽しみ抽選会も行われます。

参加希望の方は、当日午前7時45分〜8時30分に、会場までお越し下さい(それ以降の受付は行けません)。ただし当日受付は、10kmの部が先着300人、3kmの部が先着200人までとなっておりますので、ご注意ください。参加料は、一人千五百円です。皆さんもぜひご参加ください。

【問】堀池清典
TEL 090-22017-6606

●防災訓練に御参加を!

琵琶湖西岸断層帯を震源とする大地震が発生したとの想定で自治会単位を対象とした避難訓練を実施します。

日時 平成22年1月24日(日)
午前9時 地震発生

場所 膳所城跡公園

①参集避難・被害報告訓練
各自治会単位で指定の一時避難場所に集合し、安否確認などを行い代表者の誘導のもと、市指定避難場所の膳所城跡公園に避難します。

(所要時間の確認)

②消火訓練 ③煙霧体験 ④応急手当・搬送訓練 ⑤炊き出し訓練 ⑥地震車による振動体験 ⑦防災資機材の使用方法的学習 ⑧土のう袋作成訓練

防災訓練事前説明会
前回までの反省を基に、今回は防火(防災)委員を対象とした説明会を、22年1月16日(土)午後7時30分より、膳所市民センターで開催します。
(膳所学区自主防災会)

膳所城下町めぐり

城下町の魅力にふれる秋

膳所まちづくり委員会では、わがまちづくり市民会議の支援を得て、11月15日(日)に膳所城下町めぐりを開催しました。今回で4回目となるこの催しは、城下町膳所の歴史文化にふれながらふるさと意識を養い、膳所を市外にもアピールしようとするものです。快晴の秋空のもと90名の参加者は膳所市民センターで「幕末の城下町膳所」をテーマにしたセミナーを

受講。その後、まちづくり委員会メンバーのガイドにより、膳所城跡公園や和田神社、六休地蔵などをめぐりました。響忍寺ではご住職の説明とお茶やお菓



子のおもてなしを受け、参加者全員が膳所のあたたかい人情にふれたと喜ばれるなど、終始笑顔に包まれた町歩きとなり、最終ポイントになった岡山墓地での記念のお線香のプレゼントにも感激した様子でした。



明とお茶やお菓

葉色付くころ

平成21年度文化祭

10月31日～11月3日、膳所学区文化祭が膳所学区文化振興協議会の主催の下、行われました。

会場では、公民館を利用する団体の作品や公民館講座の「親子で焼物に挑戦」の作品、膳所幼稚園と膳所小学校の作品が展示されました。



年配のご家族で来られた方には、子どもは真太郎人形と膳所学区健康推進協議会作品の部屋に一緒に展示している事などを伝えました。また、真太郎人形は高価格の材料費が掛かっていると聞き、今年はお聞きしなかった。今年には以前出品されていた「花あそびの会」が5年ぶりに出品して頂き華やかでした。栗津中学校から

は、学校行事の忙しいなか二年生全体で作られた安藤広重の粟津晴風の浮世絵をパソコンに取り入れ色を再現、拡大されたもので、1センチ四方の色紙でモザイク状の貼り絵が見事でした。三年生男子30名が約2m四方の発泡スチロールに白と黒に塗った爪楊枝を57、600本突き刺し、月に雲が繋がっている作品を出品して頂き3階ロビーに掛けました。何れも鑑賞された方々が根気の入ることだなと言っていました。2階和室で11月3日に行われた膳所おはなし文庫では、体験コーナーとして「びっくりへび」作りで子供たちがお母さんと一生懸命になり挑戦していました。1階フロアの会場では、メタルエンボッシングアート・トールペインティングが主に飾られていて、これを教えている教



は、学校行事の忙しいなか二年生全体で作られた安藤広重の粟津晴風の浮世絵をパソコンに取り入れ色を再現、拡大されたもので、1センチ四方の色紙でモザイク状の貼り絵が見事でした。三年生男子30名が約2m四方の発泡スチロールに白と黒に塗った爪楊枝を57、600本突き刺し、月に雲が繋がっている作品を出品して頂き3階ロビーに掛けました。何れも鑑賞された方々が根気の入ることだなと言っていました。2階和室で11月3日に行われた膳所おはなし文庫では、体験コーナーとして「びっくりへび」作りで子供たちがお母さんと一生懸命になり挑戦していました。1階フロアの会場では、メタルエンボッシングアート・トールペインティングが主に飾られていて、これを教えている教



健康推進協議会

田島広絵 「思い出の和紙人形展」



10月31日～11月15日、膳所歴史資料室秋季企画展が開催されました。出展者の田島氏が言われるには、古来からの伝統和紙は美しく、暖かくそしてやさしく、しなやかで、その上大変強く素晴らしいもので、その和紙に魅せられて人形を創作され38年とのこと。今回は、田島広絵氏による四回目の展示会で、人形創作38年の集大成の作品、約二百余点が展示、NHK・BBCなどでも放映され、学区以外にも多数来訪されました。鑑賞された皆さんは作品一つ一つに大変素晴らしいと感じ、楽しいひと時を過ごされていきました。開催中は816名の来訪者がありました。

この後、お迎えに行かれ、親子で膳所公園へ行き、おいしくお弁当を食べられたグループもあり、大変喜んでいらつしやっただけという報告をうけました。

お弁当作りに参加して

食育についての勉強会と題して、園児のお弁当作りというところで、健康推進協議会の皆様に一つ一つ丁寧に指導していただき、楽しい時間を過ごすことができました。この時期らしい、さつまいもを使った「さつまいものごまだんご」や「ミニトマトとプロックリーのマヨネーズ焼き」は手軽に簡単に出来るので、私のレパートリーの一つにしたいと思いました。

膳所学区自治連合会 研修会

10月19日(月)、膳所学区自治連合会研修会が行われました。今回は膳所学区と同様に、城を核にまちづくりが進められている大山城下町のまち並みを視察するとともに、自治会相互の親睦を深めることを目的に行われました。明治村では、村内地図を片手に、ガイドさんの説明を聞きながら村内をまわりました。60余棟の歴史的建造物のほかにも、楽しみや見どころがいっぱいでした。交通渋滞もなく、天候にも恵まれさわやかな一日を過ごしました。



膳所学区自主防災会 県外研修

11月19日(木)、平成21年度の膳所学区自主防災会研修会が行われ、県外研修として名古屋市港防災センターを訪れました。先進地の防災機能や取り組み状況について研修することによって地域の防災力を高めることです。伊勢湾台風風の風水害や地震による津波の凄さがスクリーンや写真で紹介されました。館内ではヘリコプター試乗体験もあり、避難訓練では暗闇の室内では姿勢を低く左手で壁などを確かめながら脱出することを学びました。一番怖いのは何が起こるかも知れない地震、地震体験室でも立つ事さえも出来ない震度7強体験でした。

今回は、あんしん長寿相談所の職員及び各事業所のケアマネージャーが多数参加され、福祉委員や民生委員とのコミュニケーションが図られたことが一つの大きな特徴でした。今回は、認知症による徘徊に対して家庭や地域でできることは何かについて研修したいという参加者の切実な要望が出されました。まず我が身を守る、静まってから火元を止めるなど行動することを学びました。その他にも防災について係員の説明がありました。

今回は、学区自主防災会委員始め自治会長・防火委員41名が参加しました。新春1月24日は膳所学区全体の防災訓練です。今日の研修が参考になればと思います。この後、懐かしい日本昭和村を散策し帰途につきました。

地域で介護者を支援するには

11月27日(金)、膳所市民センターで、自治連合会、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会合同の第2回福祉講座が開催されました。はじめに、橋本享子市民協会長より開会挨拶で研修会の趣旨説明があり、続いて実際に

自宅で両親の介護をされた、富士見学区の原田晴雄氏と膳所学区の吉田英夫氏が、生々しい経験談を話されました。これを受けて、膳所あんしん長寿相談所の齊藤俊一主任介護支援専門員の講話があり、その後、数人の小グループに分れ、身近な問題として真剣な話し合いが行われ、地域で介護者を支援すること、ひいては地域住民活動の大切さが強く認識されたことでした。今回は、あんしん長寿相談所の職員及び各事業所のケアマネージャーが多数参加され、福祉委員や民生委員とのコミュニケーションが図られたことが一つの大きな特徴でした。今回は、認知症による徘徊に対して家庭や地域でできることは何かについて研修したいという参加者の切実な要望が出されました。まず我が身を守る、静まってから火元を止めるなど行動することを学びました。その他にも防災について係員の説明がありました。